

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	入間市公共施設マネジメント事業計画 学校統合地区検討会議（西武地区）
開 催 日 時	令和元年7月25日（木） 午後7時00分 開会・午後9時00分 閉会
開 催 場 所	西武公民館 2F 大会議室
議 長 氏 名	吉田賢紀会長
出席委員(者)氏名	入間市公共施設マネジメント事業計画 学校統合地区検討会議（西武地区）委員 岩崎秋親、佐藤秀忠、島根雄樹、清水正二、鈴木憲之、關山啓二、 染谷英俊、高橋和久、田中崇司、築地芳枝、中島克巳、長澤ゆかり、 幡野敏彦、樋口秀男、平岡武、平岡芳太郎、不破誠、峰崎玲子、 宮西瞳、横山勝典
欠席委員(者)氏名	なし
説明者の職氏名	総務部参事兼公共施設マネジメント推進課長 浅見泰志 総務部公共施設マネジメント推進課主幹 大石浩士
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	<ol style="list-style-type: none"> 1 開 会 2 委嘱状交付 3 市長挨拶 4 自己紹介 5. 検討会議の設置目的 <ol style="list-style-type: none"> (1) 事務局説明 (2) 質疑応答 6 会長・副会長選任 7 議 事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 公共施設マネジメント事業計画の概要について <ol style="list-style-type: none"> ① 事務局説明 ② 質疑応答 (2) 検討会議のスケジュール、検討の進め方について <ol style="list-style-type: none"> ① 事務局説明 ② 質疑応答 (3) 次回検討事項説明

	8 閉 会 公 開
非 公 開 理 由	なし
傍 聴 者 数	8名
配 布 資 料	<ul style="list-style-type: none"> ・資料1 入間市公共施設マネジメント事業計画学校統合地区検討会議（西武地区）委員名簿 ・資料2 入間市公共施設マネジメント事業計画学校統合地区検討会議要綱 ・資料3 入間市公共施設マネジメント事業計画学校統合地区検討会議要綱 運用指針 ・資料4 入間市公共施設マネジメント事業計画 ・資料5 令和元年度 日程・会場（案） ・資料6 公共施設マネジメント事業計画学校統合地区検討会議における検討事項について
関係部局職員氏名	<p>教育部部長 新見輝明 教育部次長 関谷佳代子 教育部参事兼学校教育課長 北野晃 教育部副参事（教職員指導担当） 伊藤浩二 教育部教育総務課課長 鹿山泰隆</p>
事務局職員職氏名	<p>市長 田中龍夫 総務部部長 田維弘章 総務部次長 徳山寿行 総務部参事兼公共施設マネジメント推進課課長 浅見泰志 総務部副参事（公共施設マネジメント担当） 平沼宏之 総務部公共施設マネジメント推進課主幹 増田暁伸 総務部公共施設マネジメント推進課主幹 大石浩士 総務部公共施設マネジメント推進課主査 中村良太郎</p>
会議録作成方法	要点筆記

会 議 録 (2)

議 事 の 概 要 (経 過) ・ 決 定 事 項

1 開 会 (午後 7 : 00)

開会宣言、会議を公開により実施することを説明した。

2 委嘱状交付

3 市長挨拶

4 自己紹介

委員および職員の自己紹介を行った。

5 検討会議の設置目的

(1) 事務局説明

(2) 質疑応答

6 会長・副会長選任

要綱に基づき会長、副会長の選任を行った。会長は吉田賢紀委員、副会長は佐藤秀忠委員となった。

7 議 事

(1) 公共施設マネジメント事業計画の概要について

① 事務局説明

② 質疑応答

(2) 検討会議のスケジュール、検討の進め方について

① 事務局説明

② 質疑応答

(3) 次回検討事項説明

8 閉 会 (午後 9 : 00)

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
委員	<p>(委員及び事務局の発言が行われた部分のみ記述する。)</p> <p>(1) 公共施設マネジメント事業計画 (以下、事業計画) の概要について</p> <p>事業計画が平成 31 年 3 月に策定公表されて、その後 4 月に入ってすぐに市役所公共施設マネジメント推進課に問い合わせた。その時は、西武中学校へ統合と事業計画では記載されているが、この検討会議の中でどちらの中学校がよいのかを含めて検討するという事を担当職員に話を伺ったがどうということなのか。</p>
事務局	<p>事業計画の中では、西武中学校を活用して統合を考えていくことが大前提である。この検討会議で意見を伺う中で、検討していくことはあり得る。西武中学校の活用を大前提ということでお話しさせていただいた。</p>
委員	<p>問い合わせた時には、本当に白紙の状態から話し合うということであったがいかかが。事業計画には西武中学校に統合と記載されているが、内容についてはこれから協議するという事で説明を受けた。</p>
事務局	<p>ご説明の中では、事業計画に基づいて進めていくということで申し上げたつもりである。この検討会議でこういった意見が出るのかは分からない。そういった意見を踏まえて、最終的には決定していくとお話しをさせていただいた。</p>
委員	<p>野田中学校へ統合される可能性は残っているのか。</p>
事務局	<p>西武地区の検討会議については、事業計画の実現に向けて様々な課題がある中で、どのような解決方法があるのかを皆様から意見をいただいて、具体化を図っていきたい。今現在、西武中学校へ統合と事業計画に示しているので、実現させることを前提とした会議ということでご了承いただきたい。</p>
委員	<p>野田中学校になることはないということによろしいか。</p>

発 言 者	発 言 内 容
事務局	事業計画では、野田中学校への統合は考えていない。
委員	統廃合は10年後である。10年後のことを考えると、小学校と中学校は現状のままでよいのか。児童・生徒数の推移等をいろいろと調べてビジョンを考えないといけない。また、小中学校の施設や通学路等の現地を目で見て確かめる必要もある。
委員	なぜ、西武中学校への統合が決定したのかを事前に説明してほしい。どういった形で議会を通されたのか等、経緯について説明いただければ分かりやすいし、委員の共通認識も図られるのではないかと。
事務局	事業計画の策定について、今年1月から2月にかけて事業計画の原案を示し、パブリックコメントを実施し様々な意見をいただいた。また、説明会等も実施し多くの意見をいただいた。総合的に勘案した上で、最終的には市として原案の時期を若干先送りにするということを決定させていただいた。しかし、これまでの説明の中でも、まだまだ十分なデータが示しきれていない部分がある。例えば、児童・生徒数の推移であったり、また地域全体の人口の動向であったりとか課題として指摘された。通学路については、具体的な場所も示していただき危険性があると指摘をいただいている。検討会議を通じて詳細なデータを次回以降の検討会議で示し、また通学路の課題は実際現地を見て、その状況を皆様と共通認識とし、確認をさせていただく。現地確認後、通学路の課題をどのように解決していくのかを意見交換し、解決策を探っていきたいと考えている。2回目の会議では西武中学校を選択した理由ももう少し詳しく説明するため、資料を含めて準備をしているので、改めて詳しく説明できればと考えている。
委員	野田中学校は市街化調整区域に建っているが、市街化区域に変更することはできないのか。市街化区域にすれば人口も増えるだろうし、税収も増えるのではないかと。なぜ、調整区域にしておきたいのか。人口が増えれば自ずと人口が多い側に学校があった方がよいので、野田中学校への統合も考えられる。また、畑があっても耕作物をつくる人が高齢化しており、どんどん手放して荒野になることも予想される。

発 言 者	発 言 内 容
事務局	<p>大きく2つの問題がある。まず1つ目の人口増に向けた市街化区域への変更ということについては、市町村独自に拡大することは難しい。県、国の政策に則ってということがある。日本全体でみると人口は減少している中で、市街化調整区域を市街化区域にして人口をはりつけていくということは、逆に言えば、空き家が増大して人口減少に拍車がかかる地区ができるということでもある。また、現在、各市町村間で人口が取り合いになっている中で、開発をした結果、思い通りにうまくなかったということも考えられる。そういった観点からも、県には市街化調整区域を市街化区域に変更して人口増を図ることはなかなか認めてもらえない。2点目は農地の転用ということである。農地については、農地保護ということが国の政策としてあり、転用には強い規制がある。特に農業振興地域の農用地として指定がある区域においては、たとえ耕作放棄地であっても別用途に変更することは非常にハードルが高い。そうしたことから、土地利用構想を大幅に見直そうと考えても多くの時間を要することになる。また、現実的に実現できるのかということになると、非常に厳しい見通しになっている。西武地区に限らず市内各地区においても、このような意見を多数いただいているが、現実的には市街化区域への変更は難しい。</p>
委員	<p>今回の事業計画の位置付けが計画書の18ページに記載されている。市長や事務局の説明のとおり、事業計画に基づいて進めていきたいという意思はよく分かる。一方で、その先の意思決定のプロセスがあるのか。例えば、この後議会で西武中学校を建替えるとなった時に答申判断になる。その時に、議会の意思決定のプロセスが働くのか働かないのか、もしくは全て行政でやりきれものなのか。やりきれものだとすると、事業計画どおりに進むのであろう。分からないまま検討会議が進んでしまうと、何に対して意見を言えばいいのか分からないので、明らかにしていただきたい。</p>
事務局	<p>事業計画の策定については、市の様々なプロセスを経て市長の内容確認を終え、市側で策定をさせていただいた。そのプロセスにおいては、市議会議員の皆様には説明させていただいた。現在、市議会では公共施設マネジメント関係の特別委員会を設置しており、定期的に議会のチェックは入っている。また、事業計画の実行段階では必ず予算が伴う。市が予算を上程</p>

発 言 者	発 言 内 容
委員	<p>し審議をいただき議会で決定をいただく過程で、議会のチェックは再度入る形となるため、市（執行部）で全てのことを勝手にできることではなく市民の皆様にも理解をいただきながら、進めていくことが長期的にみて市として望ましい姿なのではないかと考えている。</p> <p>検討会議は市の方針に則って計画を進めていく中で、課題があるのであればここで認識をして、課題解決に向けて市としても努力していきたいという考えでよろしいか。</p>
事務局	<p>資料 6 をご覧いただきたい。これまでの意見交換会や説明会において参加者の皆様から様々な意見を伺う中で、全体的な考えをもって計画を策定させていただいた。それでも、多くの課題があり、市で認識している課題（資料 6 の下部分）を検討会議で検討していくべきではないかと考えている。それ以外の課題が皆様方にあるのであれば、意見をいただいてそれをテーマにし調査させていただき示していきたい。例えば、市で解決策を示した時に、これで十分なのか、まだ他に対策があるのではないかなど意見をいただき、最終的に会議での意見を踏まえながら、事業計画をどのように進めていくのかという検討材料にさせていただきたい。</p>
委員	<p>計画書の 97 ページに方向性とあるが、西武中学校は 2026 年から 2028 年に建替えし野田中学校を統合すると記載されている。上段の西武小学校も仏子小学校を統合・建替えとあるが、基本的には西武小学校を建替えてから統合するのか、ちょっと見えない部分がある。統合を踏まえ、通学路とかいろいろと考えていかななくてはならない。30 年前とは交通事情が物凄く変わっている。特に、中橋を通る所は朝夕自動車はかなり渋滞している。どちらに統合するにしても、通学路は安全に確保する必要がある。結局は、お金がどの程度くり出せるのかという問題は最後に必ず出てくる。統合した場合に、西武中学校に通う生徒が何人くらい中橋や上橋を渡って通学するのか等の見通しも立てていかないといけない。建替えとか統合とかのおおまかな時期が分かっていたら示していただきたい。</p>
事務局	<p>中学校は、建替え後の第 2 期の最初の年（2029 年度を目安）に統合したい。小学校については、全ての校舎を建替えるということではなく、新し</p>

発 言 者	発 言 内 容
委員	<p>い校舎についてはそのまま活用していきたい。ただし、西校舎は老朽化が進んでいるので、第2期の上半期の5年間の間に建替えし、建替え後に仏子小学校を統合できればと事業計画では考えている。</p> <p>西武中学校の子供たちのことを考えると、部活動の数が少ないので部活動だけでも野田中学校へいけないかと以前に話しましたが、教育上難しいということであった。3年後に向けて、西武中学校へ統合されようが野田中学校へ統合されようがどちらでもよかった。子どもという弱者を守るための通学路の安全確保を優先的にしてもらえないと統合の話はまとまらないと3年前から訴えていたが、具体的な回答がないまま今日に至った。せっかくこれだけの人たちが集まっている会議なので、各回の検討事案に関しての市としての考え方を口頭でも構わないので、都度説明してもらいたい。そうすれば、心の中のモヤモヤがなくなっていくのでよろしく願います。</p>
事務局	<p>それぞれのテーマに基づいて、内容を絞って会議の進行をしていく予定である。事前の準備期間に様々なデータを用意し、また具体的に市の考え方をお示しできると考えている。</p>
委員	<p>(2) 検討会議のスケジュール、検討の進め方について</p> <p>2ヶ月に1回では効率が悪いので、1ヶ月に1回くらい会議を実施した方がよいのではないかと。市の職員は忙しいのは分かるが、子どものために日程をもう少し増やして検討した方がよい。</p>
事務局	<p>今現在も様々な情報を調べて資料作成をしている。皆様から求められる資料があるならば、市は半月単位で考えながら、データ収集、資料作成、そして市の対応を決定する。具体的な対応策を示すことになるので、どうしてもある程度の期間をいただきたい。そういった中でもなるべく多くの回数を実施すべきということであれば、基本的にはスケジュールに示した間隔はとりながらも、その間で市のデータが揃わなくても1つのテーマに対して2回会議があってもよいと考える。あとは、皆様方のスケジュール調整になってくる。</p>

発 言 者	発 言 内 容
委員	<p>テーマに沿って進めていきたいという話がある中で、資料5の日程（案）にテーマが載っていないが、どのようなテーマをどの月にやろうとしているのは決まっているのか。</p>
事務局	<p>全体的な考えとして、次回までは市で予定しているテーマがある。一方で、本日配布した資料6に基づいて、検討予定のテーマについて市である程度念頭に入れて、予定を作成していく。他に検討したいテーマがあれば、まず提案をいただき次回提出してほしい。提出されたテーマを基に、3回目以降のテーマを柔軟に考えていく必要がある。なお、この中で皆様方の共通の課題として交通安全対策は最重要視されるものなので、1回の検討ではなく複数回やっていく必要がある。まずは、参加できる委員の皆様方と一緒に現地確認し同じ目線で見えていくことが必要である。</p>
委員	<p>(3) 次回検討事項説明</p> <p>3回目以降については、資料6に記載のあるテーマを今年度の残り3回で全てやっていく予定なのか。それともあくまで、2年間でここにあるテーマを消化していく予定なのか。</p>
事務局	<p>2年間の期間で考えている。</p>
委員	<p>2年間でトータル10回から12回の会議が予定されるが、最終的なゴールはどこなのか。何に向かって話し合いをしていくのか。</p>
事務局	<p>あくまで検討会議では、決定をしていただくということは考えていない。最終的な決定は市で行う。2年間の中で課題を少しでも解決をしていく、解決に向けて道筋を見つけていくということで考えている。2年間で整理できなかった場合には、その後のことは再度考えさせていただく。</p>
委員	<p>検討会議で素晴らしいアイデアが出た場合に、そういった意見が受け入れられない場合もあるのか。</p>
事務局	<p>検討会議で議論されたことは、地元の皆様方の意見として大変貴重で重要であるため、しっかりと受け止めていきたい。その考え方を市として様々</p>

発 言 者	発 言 内 容
委員	<p>な状況を勘案しながら、議案へ上程する。また、内容の審査や決定という過程で市議会の同意も必要である。ここで提案されたことが全て達成できるという確約はどこにもない。これはどのような議論でも同じことが言える。</p> <p>当日の会議資料を事前に配布していただけると、会議までに資料を読み込み活発な議論ができる。できれば、資料が出来上がり次第、早めに配布していただきたい。</p>
事務局	<p>事務局としては、事前資料送付も日程の中に組み込みながらスケジュールを調整させていただいた。なるべく会議の1週間前には送付できるよう事務を進める。</p>
委員	<p>私たちは、いろいろな立場を代表として会議に参加している。この会議内容を各団体の集まりの時にフィードバックしていただきたい。個人としての意見はもちろんのこと各団体の代表としてまとめて意見することも大切なことである。検討会議として要望を出してうまくまとめていかなければならない。私たちは、市の提案に対して賛成や反対をするというような評議員ではない。検討会議において、いかに多くのアイデアや知恵を出すか。市がどれだけの予算措置を講じられるかによって通学路の安全対策は決まってくる。100%安全な通学路にすることは、昨今の高齢者ドライバーの事故などによる思いもよらないことが起こる時代なので非常に難しい。考えられる最善の安全対策（納得できる安全対策）をとれるようになっていくことが、私たちの任務なのではないか。私たちの意見は尊重していただけるということなので、多くの意見を出し合い活発な議論をしていきたい。</p>
委員	<p>まだ先になるが、11年後（2029年）の統合に向けての考えをしかと聞いた。委員の中にもまだ野田中学校への統合を考えている方がいる。西武地区の住民としてまだまだそういう気持ちの方が多。市長が話されたように西武中学校ありきということを目にした。それについて、いかによい道があるのか、よい道をつくるためには皆様の意見を聞きたい。11年後の統合の時に、是非市長の考えを次の代に繋げていって、それが可能となる</p>

発 言 者	発 言 内 容
委員	<p>ような時代にしていただきたい。私たちの意見もまだまだ検討する余地があると思う。それぞれ一人一人が歩いてみて考えていかなければならない。事業計画の実現に向けてよい意見を私たちも述べさせていただき、勉強もしていきたい。野田中学校への統合はないということをはっきり示してもらわないとまだまだグラグラしている。今日は、しかと考えを示していただいたので団体へ伝えることができる。市長の考えを踏まえて、私たちはよい道を探るように努力していくことで皆様にもお願いしたい。</p> <p>統合は 10 年後、さきほど西武中学校の部活動の話があった。西武中学校は部活動の数が少ないので、どんどん他の中学校へ生徒が流れている。野田中学校だけでなく、黒須中学校、金子中学校へも流れている。この先 10 年間、苦渋の選択を子どもたちにさせるということに心が痛む。こんなにも可哀想なことをさせるのならば、個人的には西武中学校でなく野田中学校へ通ってもらいたい。通学に関しては、気を付けて行ってもらえればよい。統合まで 10 年という長い期間であることをもう一度考え直してほしい。敷地が広く生徒数も多い野田中学校へ統合すればよいのではないか。</p>
事務局	<p>事業計画決定プロセスにおける児童・生徒推計等のデータを次回の会議で提出する予定で準備を進めている。そういった資料の中で 10 年後の統合というところを説明したい。</p>

発 言 者	発 言 内 容

議事のでん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

令和元年9月 4日

会 長 の 署 名

吉田賢純